

新潟地方気象台から発表された1か月予報（5月18日～6月17日）では、特に気温が高くなる見込みとなっています。

昨年は、ひこばえが例年よりも多かったこともあり、ワキ（メタンガス）が多く発生することが予想されます。ワキが顕著に発生すると根の活力が低下し、生育不良を引き起こす恐れがあるため、夜間落水で本田内のガス抜きと酸素供給を行いましょう。

稲作技術情報

～水持ちに応じた中干しで適正茎数・適正籾数の確保～

1. 田植後25日を目安に茎数を確認！
2. 中干しの開始目安は茎数15～18本！
3. 溝切りによる圃場内の入排水性向上！
4. 過度な中干しに注意！
5. 中干しは出穂期1ヶ月前（7月5日頃）まで！
6. 中干し後は積極的なケイ酸補給！

1. 田植後25日を目安に茎数を確認！

適期中干しを行うことで、収穫時の収量・品質の安定化につながります。田植後25日を目安に中干し開始時期を把握した中で適切な作業を行いましょう。

また、中干しは下位節間の伸長を抑制する効果もあります。

中干し開始が遅れると草丈（下位節間）の伸長や茎数過剰による品質低下の恐れがあります。

- 右記の図を参考に茎数（主茎・分げつ）を数え、圃場全体と照らし合わせ、生育量を確認しましょう。
- 圃場毎に生育量に違いがあるため、1圃場につき1株以上の茎数を確認しましょう。

2. 中干し開始の目安は株あたり茎数15～18本！

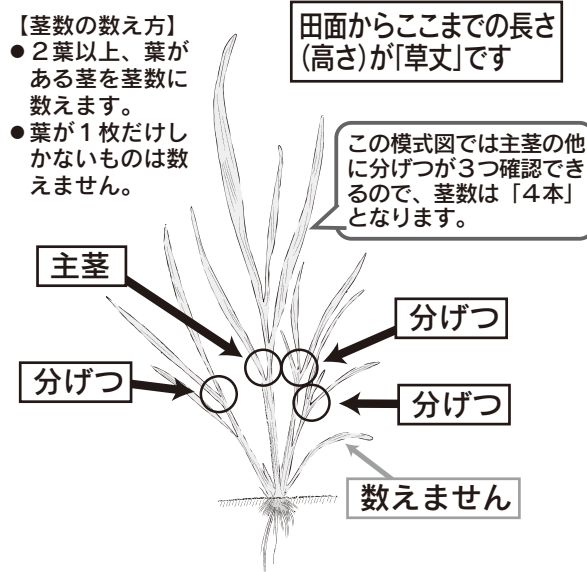
中干し開始の目安として、目標穂数の8割を確認したら中干しを開始しましょう。

- 管内の目標穂数：350本/㎡→8割：280本/㎡（株あたり15～18本/株）

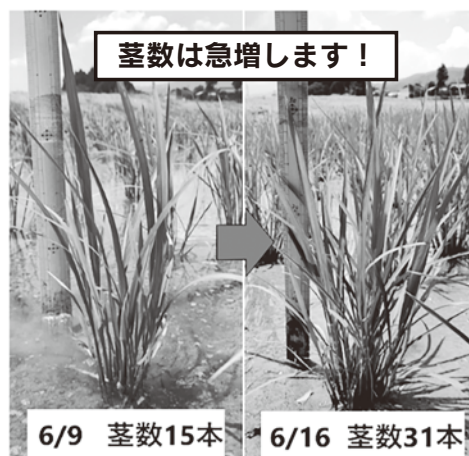
【中干し開始適期の圃場】



茎数の確認方法



茎数は急増します！



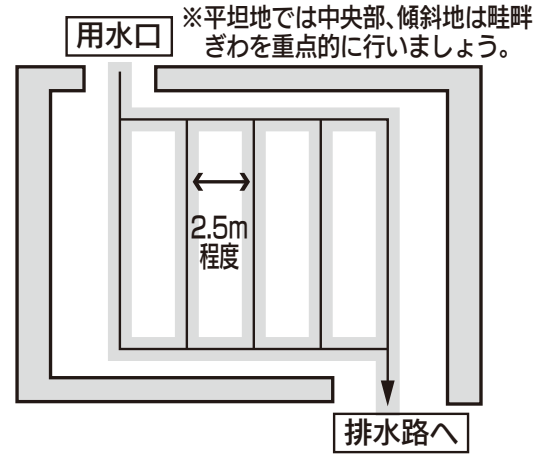
今年もやります！！中干し指導会

詳細につきましては、4～5ページをご覧ください。

3. 溝切り作業実施による圃場内の入排水性向上!

中干しの効果増大と、中干し終了後の水管理を容易にするために溝切り作業を実施しましょう。

- 溝は深さ10cm以上確保しましょう。
- 各溝の末端と水口・水尻は必ず繋げましょう。



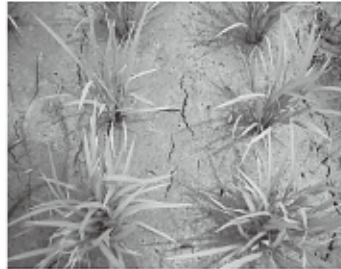
4. 過度な中干しに注意!

中干しの程度は、圃場中央の田面に小ヒビ、歩いて軽く足跡がつく程度に行いましょう。

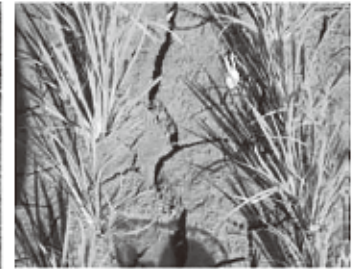
弱いと生育過剰や倒伏による収量・品質の低下を助長し、強いと根が切れ生育不良や登熟不良による品質低下に繋がるため適切な中干しを行いましょう。

管内の中干し期間は平均で15日程度です。水持ちに応じて開始・終了時期を調節し収量と品質が安定する総粒数(26,000～28,000粒/㎡)を目指しましょう。

適度な中干し



過剰な中干し

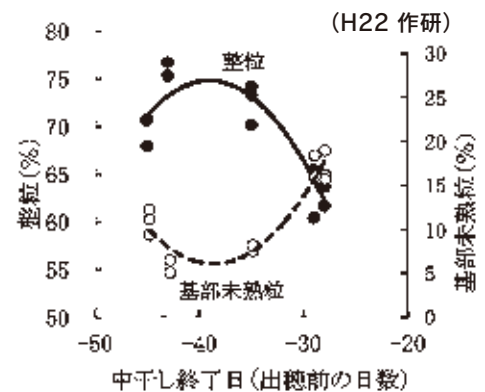


5. 中干しは出穂期1ヶ月前(7月5日頃)までに終了!

中干しを穂が形成される時期まで行くと、根域の縮小などの影響により整粒歩合の低下を招く恐れがあるため、遅くとも出穂1ヶ月前までに中干しを終了しましょう。

中干し終了後は、常時湛水はせずに、水尻を止めた状態で入水と自然減水を繰り返す水管理を行い、根の健全化を図りましょう。

【中干し終了時期と基部未熟】



6. 中干し後は積極的なケイ酸補給!

中干し終了後は、ケイ酸質肥料を中間追肥として施用しましょう。

ケイ酸質の施用による稲体への影響として、受光態勢の向上、稲体の活力維持、病害への抵抗性増加、高温時の葉面温度上昇抑制といった効果が期待されるため積極的に施用しましょう。

なお、基肥一発肥料には中間追肥分は含まれておりませんので、基肥一発肥料を施用された方も積極的に中間追肥を施用しましょう。

肥料名	保証成分量% (他含有成分量%)	基準施用量 (kg/10a)	使用時期	特徴
魚沼口マン グルメエース	リン酸:6 苦土:10 マンガ:0.1 ホウ素:0.1 (ケイ酸:約16 銅・鉄・亜鉛:微量元素)	20～40	6月下旬 ～ 7月上旬	リン酸・苦土・ケイ酸に加え、微量元素を多く含むバランスの良いマルチ肥料。
スーパーシリカ プレミアム	ケイ酸:30 アルカリ分:40 苦土:2 (リン酸:2.7 マンガン・鉄:微量元素)			高溶出のケイ酸を含有しているため効率よくケイ酸投入できる。
とれ太郎	リン酸:6 苦土:12 ケイ酸:30 アルカリ分:40 (石灰:34～38 鉄:3～4)			ケイ酸の他にリン酸、苦土、石灰をバランスよく含んでいる総合的な土づくり肥料。
けい酸加里 プレミア34	カリ:20 苦土:4 ホウ素:0.1 ケイ酸:34 (鉄:2～5 アルカリ分:7～12)			ケイ酸分を豊富に含み、また含まれるカリは緩効性のため効率よく吸収される。

～ 薬剤による本田管理について ～

1. 藻類（アオミドロ）・表層剝離対策

気温が高いと藻類（アオミドロ）・表層剝離の発生が多くなります。その影響で、除草剤効果の低下や薬害リスクを助長、分けつの抑制などが考えられるため、多発生している圃場では、夜間落水や早めの薬剤防除（モゲトン剤）も検討しましょう。

2. 後発雑草へのおすすめ除草剤

中干し前、終了後に発生した雑草については適切な除草剤を使用しましょう。

品 名		成分数	使用量 (10aあたり)	使用時期	使用方法	適用雑草				
						ノビエ	ホタルイ	クログワイ	オモダカ	クサネム
クリンチャー	1キロ粒剤	1	1kg	移植後7日～ ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	灌水 散布	4葉期	×	×	×	×
	ジャンボ		50g×20個 (1kg)	移植後7日～ ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	灌水 散布	4葉期	×	×	×	×
トドメMF	1キロ粒剤	1	1kg	移植後14日～ ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	湛水 散布	5葉期	×	×	×	×
	乳剤		散布薬量： 200ml 希釈水量： 25～100ℓ	移植後14日～ ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	灌水散布 又は 落水散布	7葉期	×	×	×	×
ナイスミドル	1キロ粒剤	3	1kg	移植後14日～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	灌水 散布	4葉期	4葉期	草丈 10cm	矢尻葉 抽出前	×
ゲパード	1キロ粒剤	4	1kg	移植後14日～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水 散布	4葉期	花茎 20cm	30cm	矢尻葉 3葉期	×
	ジャンボ		40g×10個 (400g)	移植後14日～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	灌水 散布	4葉期	花茎 20cm	30cm	矢尻葉 3葉期	×
バサグラン	粒剤	1	3～4kg	移植後15日～55日 但し、収穫60日前まで	落水散布 又は ごく浅く 湛水して 散布	×	増殖 中期	15cm 以下	発生 揃期	×
	液剤		散布薬量： 500～700ml 希釈水量： 70～100ℓ	移植後15日～55日 但し、収穫50日前まで		×	増殖 中期	15～ 30cm	増殖 初期	本葉1 ～2葉期 10cm 以下
クリンチャー バスME	液剤	2	散布薬量： 1000ml 希釈水量： 70～100ℓ	移植後15日～ ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	落水散布 又は ごく浅く 湛水して 散布	5葉期	増殖 中期	発生 盛期 10～ 20cm	発生 盛期 5～ 15cm	×
トドメバスMF	液剤	2	散布薬量： 1000ml 希釈水量： 70～100ℓ	移植後15日～ ノビエ6葉期 但し、収穫50日前まで	落水散布 又は ごく浅く 湛水して 散布	6葉期	花茎 40cm まで	草丈 20cm まで	矢尻葉 3葉期	×
ウィードコア	1キロ粒剤	3	1kg	移植後7日～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水 散布	4葉期	4葉期	20cm	約30cm	約30cm
アレイルSC	水和剤	2	散布薬量：500ml 希釈水量： 50～100ℓ（通常） 25～50ℓ（少量）	移植後20日～ ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	灌水散布 又は 落水散布	5葉期	花茎 20cm まで	草丈 70cm まで	矢尻葉 3葉期 まで	約50cm

※使用前には、ラベルの確認を行いましょう。

令和6年産米 中干し指導会のご案内

安定した品質・収量の確保に向けて重要基本技術である「中干し」について指導会を開催します。適期に中干しを開始することで過剰生育の防止による良質茎の確保と倒伏防止を図りましょう。多くの方よりご参加をお待ちしております。

開催日程表《大和会場》

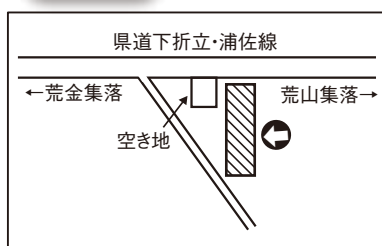
東地区

《雷土》



開催日時
6月11日(火)
夕方 18時30分～

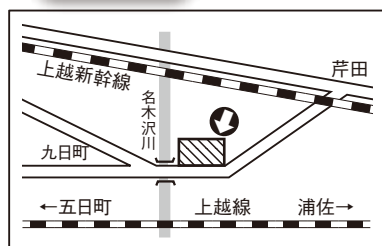
《桐沢》



開催日時
6月11日(火)
夕方 18時30分～

藪神地区

《九日町》



開催日時
6月11日(火)
朝 6時～

浦佐地区

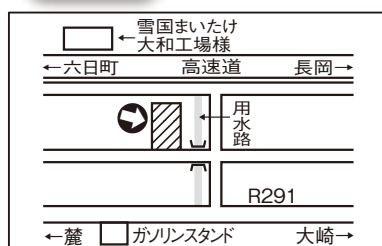
《五箇》



開催日時
6月11日(火)
朝 6時～

大崎地区

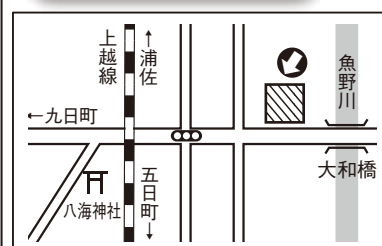
《水尾》



開催日時
6月10日(月)
夕方 18時30分～

土曜日開催

《大和カントリー》

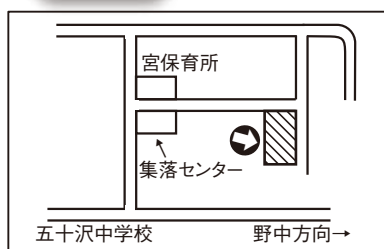


開催日時
6月15日(土)
朝 7時30分～

開催日程表《六日町会場》

五十沢地区

《宮》



開催日時 **6月10日(月)**
夕方 18時30分~

六日町地区

《欠ノ上》



開催日時 **6月11日(火)**
朝 6時~



城内地区

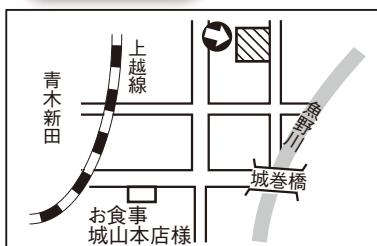
《新堀》



開催日時 **6月10日(月)**
夕方 18時30分~

大巻地区

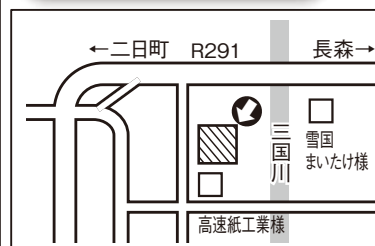
《青木新田》



開催日時 **6月11日(火)**
夕方 18時30分~

土曜日開催

《六日町カントリー》

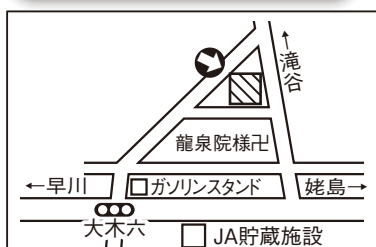


開催日時 **6月15日(土)**
朝 7時30分~

開催日程表《塩沢・湯沢会場》

塩沢地区

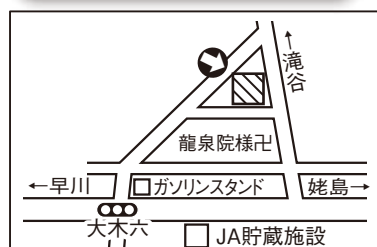
《しおざわカントリー》



開催日時 **6月8日(土)**
朝 7時30分~

塩沢地区

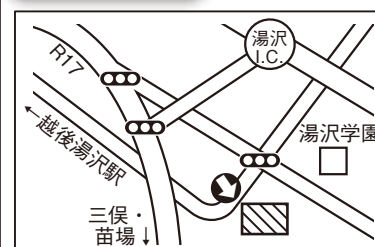
《しおざわカントリー》



開催日時 **6月10日(月)**
夕方 18時~

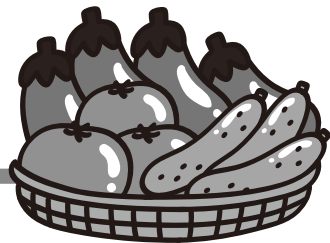
湯沢地区

《湯沢支店》



開催日時 **6月12日(水)**
午後 13時30分~

夏野菜の栽培管理について



1. 仕立て（整枝）方法

仕立て（整枝）を行うことにより、収穫量の増加や収穫期間を延長できます。

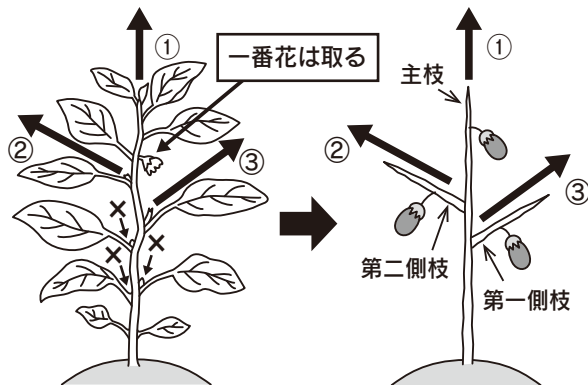
主だった夏野菜の仕立て（整枝）方法をご紹介します。

(1) ナス

「三本仕立て」が一般的です。1 番花の咲く枝が主枝（①）で、この枝とすぐ下の枝（②）と、更に下の枝（③）の3本を伸ばして育てるやり方です。

POINT!

1 番果は、その後の生育負担となるので早めに摘みとりましょう。



(2) トマト

「1 本仕立て」が一般的で主枝（①）だけを1 本伸ばし、わき芽はすべて取り除きます。（図1）

POINT!

植え付け後に過繁茂にならないよう、第1花房は確実に着果させましょう。（図2）

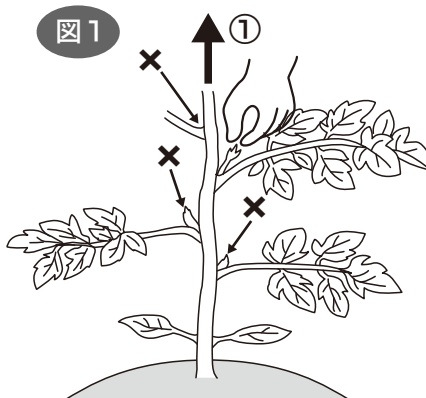


図2



出典：やさい畑

(3) キュウリ（柴）

本葉5～6枚（節）までのわき芽はすべて取り除き、それより上のわき芽を伸ばします（図1）。

伸びたわき芽（子づる）は3節目以内でとめ、孫づる、ひ孫づるも同じように葉2枚を残してその先でとめます（図2）。

POINT!

※となりの株の葉と重ならない程度でとめる。

図1

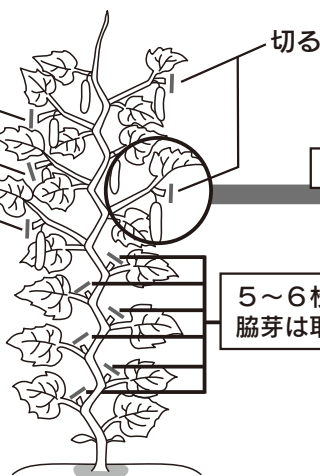
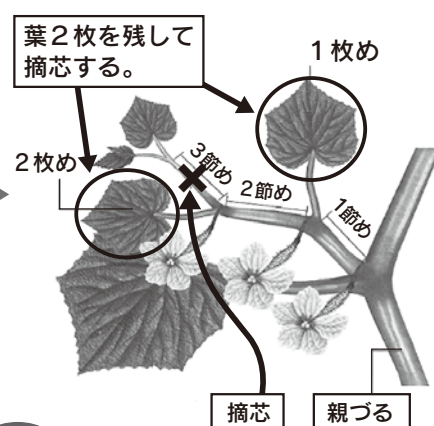


図2



出典：やさい畑

POINT!

・下位節からの実は奇形になりやすいので、わき芽の時点で早目に摘みましょう。
・風通しが悪くなると病気が出やすくなるので、重なりあっている大きな葉については適度にかき取り、被害葉は早目に取り除きましょう。

2. 追肥

(1) ナス

生育期間が長いので、肥切れにならないよう収穫開始後、生育や果実の状態を見ながら追肥と灌水を行い、草勢の維持に努めましょう。生育後半に草勢が落ちてきた場合は、追肥の間隔を短くし灌水も行い肥効を促進させましょう。(液肥などの灌注は即効性あり)

<追肥例(追肥量・間隔)(10㎡あたり)>

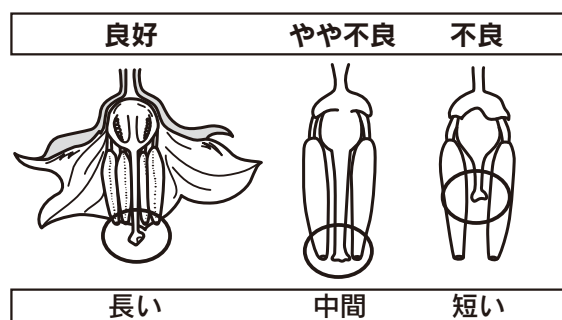
●1回の施肥量：NK化成200g程度 ●間隔：10～15日間隔(生育の状態を見ながら)

☆栄養状態参考図



出典：やさい畑

栄養状態やや不良(茎葉)



栄養状態例(花：雌しべの長さ)

(2) トマト

第3花房が開花するころから、生育の具合や第1花房の着果数・果実の太り具合を見ながら追肥をします。成長点付近の葉が細くなり、草勢が弱くなってきた頃が目安です。

また、草勢が極端に強い場合は、わき芽を伸ばして2本仕立てにすると、ある程度草勢を抑えることができます。

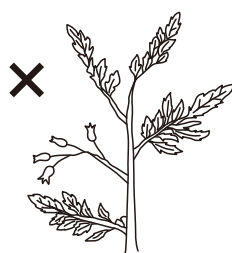
<追肥例(追肥量・間隔)(10㎡あたり)>

●1回の施肥量：NK化成150～200g程度 ●間隔：10～15日間隔(生育の状態を見ながら)

☆栄養状態参考図



適度な栄養状態



栄養不足状態

葉色が淡く、
葉がやや上に向く



栄養過多状態

葉色が濃く、
葉が内側に巻く

(3) キュウリ

肥料と水分が不足すると果実の品質が落ちて食味も悪くなります。本葉が6枚になるまでに咲く雌花・側枝はできるだけ早めに除去し、追肥は収穫の初期から生育・果実の状態に注意して、灌水と組み合わせると草勢を落とさないようにしましょう。

<追肥例(追肥量・間隔)(10㎡あたり)>

●1回の施肥量：NK化成200～300g程度
●間隔：7～10日間隔(生育の状態を見ながら)



栄養状態
やや不良

出典：やさい畑

【主な追肥肥料】

資材名	効果
N K 化成	野菜全般の追肥に使用可能。速効性の硝酸態窒素を多く含み、追肥に適している。
燐硝安加里 1 号	野菜全般の追肥に使用可能。速効性の硝酸態窒素を多く含み、追肥に適している。また、 <u>土壌を酸性化させない</u> 。
くみあい液肥 2 号	野菜全般の追肥に使用可能。粒状肥料に比べ即効性あり。

3. 梅雨時期の野菜管理

梅雨時期は雨の日が続き、水はけの悪い畑では野菜の**生育不良**や**病気**になりやすい。

(原因) ・畑に水がたまり、根の働きが悪くなり生育が滞り、病気に対する抵抗力が弱まる。

・雨水による泥の跳ね上がりにより、多くの病原菌が作物に付着し、湿度の高い条件も重なり急激に増殖する。



対策

- ・梅雨入り前に畑に溝を掘り、排水を良好にする。(額縁排水溝…あぜみちNo3・P7参照)
- ・敷きわら・マルチを敷き、雨水による泥のはね上りを防ぐ。雨よけを設置する。
- ・密植・過繁茂を避け、風通しを良くする。適正な剪定を行う。
- ・病気にかかった野菜の茎・葉・根などは早めに除去し、畑の外に運び出し病気のまん延を防ぐ。
- ・日々観察し、病害虫の早期発見・早期防除が重要。

上記対策を行った上で、殺菌剤など薬剤防除を行い発生予防に努めましょう。

品目	病害虫	主な症状・被害	防除薬剤 (例)
キュウリ	べと病	葉に小さな斑点が発生し、徐々に広がっていく。症状が進むと葉裏にスス状のカビが発生し、のちに枯死する。	【予防】 ・ダコニール 1000 ・Z ボルドー
トマト・ナス ピーマン	疫病	水がしみたような褐色の病斑が葉先から広がり、茎や果実にも発生。果実が凹み、腐敗・枯死する。	【予防+治療】 ・ベンレート水和剤 ・アミスター 20 フロアブル 等
4 種共通	灰色かび病	特に果実での被害が大きく、果実を軟化・腐敗させ、のちに灰色のカビが密生する。	・マラソン乳剤 ・アディオン乳剤 ・モベント フロアブル 等
	うどんこ病	葉表に粉を吹いたような円形の白いカビが発生し、症状が進むと枯死する。	
	アブラムシ類	主に葉裏や新芽部分に寄生・吸汁し、成長を阻害する。吸汁による害のほか、各種ウイルス病を媒介する。	
	ハダニ類	下葉から発生し、葉表がカスリ状に白く色が抜ける。	

※農薬を使用する際は、登録作物名・使用方法・倍率等を確認し正しく使用しましょう。

～組合員の皆様へ～

適切な積載にご理解とご協力を!

荷を積載する際は、タイヤの空気圧を事前に確認するとともに、適切な重量、落下防止、車体からはみ出し等が無いよう注意し、事故防止に努めましょう!

次号「あぜみち」予告

- 稲作…穂肥について
- 園芸…越冬用キャベツ、ニンジンの播種について

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 TEL777-3786

◎アグリセンター六日町 TEL773-6121

◎しおざわ基幹センター TEL782-1171